



延喜式内林神社秋季例大祭

下村は獅子宿替えで賑わう

北日本・北国新聞でも報道



明け方は少し雨がぱらつくあいにくの日でした。それでも日中は持ち直した十一月三日、恒例の延喜式内林神社秋季例大祭が執り行われました。上村は今年から全戸回しをやめ慶事のみになりました。

あつた家など三十戸ほどを回ることになりました。下村は今年、三年に一度の宿替えの年で祭礼の翌日四日の夜、公文名の林好則さん宅に大切に保管されていた獅子頭などが、川原常会の林章造さん宅に移されました。夜八時から始まった宿替えでは両常会

2014年(平成26年)11月6日 木曜日

林勝義前会長(手前右)から獅子頭を引き継ぐ斉藤副会長(中央)



獅子頭保管バトンタッチ

北日本新聞

砺波・頼成下村 道具一式「宿替え」

砺波市頼成の獅子舞団体、頼成下村獅子方若連中は4日夜、獅子頭など道具一式の保管場所を移す3年に1度の伝統儀式「宿替え」を地元で繰り広げた。頼成下村には江戸時代から獅子舞が伝わり、公文名、善導、川原の3集落が持ち回りで道具を保管する風習を守っている。今回は公文名の林好則さん宅から、川原の林章造さん宅への宿替え。両集落の境で住民が対面してあいさつし、同若連中の林勝義前会長が斉藤匡宏副会長に獅子頭を引き渡した。頼成農村改善センターで勇壮な舞が披露された。



いる珍しい民俗行事ということ、北日本新聞や北国新聞(富山)の記者達も訪れて取材し後日紙面を飾りました。

の達人がたくさん集まって送り迎えしました。今年も



第5回 頼成光寿会観菊茶会



お点前 頂戴

第五回目を迎えた光寿会・浮世亭共催の観菊茶会が十一月六日、いかるぎ館において開かれました。市展特選の林孝雄さん、武部琉子さんの作品など丹精込めて育てられた見事な菊五十三鉢が展覧され、その見事さに来場者から感嘆の声が聞かれました。お茶席で茶菓をいただきながら眺める菊花の美しさはまた格別でした。お昼には女性役員の方々の心づくしで、炊き込みご飯のおにぎりなどのおもてなしがあり、心も胃袋も満たされた充実のひとときを過ごしました。お出展された方、お世話いただいた役員の方々まことに有り難うございました。



孝雄さんから菊の話の間く

らんじょ浮世亭だより

11月のらんじょ浮世亭は、光寿会との共催で恒例の観菊茶会を催しました。その様子は表ページに掲載してあります。

菊花は林孝雄さん、林孝行さん、北條蘇春さん、林喜與志さん、武部琉子さん、林邦子さんに出品していただきました。

また、茶席も多くの方々にご協力いただいて味わうことができました。

次回は12月17日(第三水曜日)です。

光寿会との合同忘年会として開催します。

光寿会の喜寿祝い、懇親会の際に「らんじょ浮世亭・100回」という15分程度のスライドの上映を予定しています。



継続する災害教訓に

地区民あげての 防災・避難訓練

御嶽山の大噴火や広島の地滑り被害など大きな災害が続発するなか、頼成でも万一に備えての防災避難訓練が、十七日、地区民総参加で実施されました。

避難指示が出た後、近隣に声を掛け合っつて近くの一時避難所に集まり、揃っていかるぎ館に避難するというもので、当日は天候にも恵まれ地区民多数が参加しました。いかるぎ館では、消火体験、非常食の炊き出し等も行つてあらためて防災意識を高めました。(写真 頼成自治会HPより)



秋の一泊旅行 11月19・20日

魚津・金太郎温泉光風閣

◆頼成光寿会・年年忘年会◆

十二月十七日(水)

午前十一時開会

参加費一・〇〇〇円 於いかるぎ館

・賀寿お祝い・スライド「らんじょ浮世亭・100回」
・懇親会 誘い合わせぜひご参加ください。

秋の一泊旅行・金太郎温泉



て帰ってきました。

今年には紅葉が色づいた十一月十九日から二十日にかけて会員二六人が参加し、魚津の金太郎温泉光風閣へ行きました。呑んだり食べたり語ったり歌ったりで楽しい時間を過ごしました。日頃余り話し合うことのないもの同士が、打ち解けて語り合える時間を持てるのはたいへん嬉しいことでした。庭園大露天風呂にひたったりおわらを観たりして身も心もほぐし

いかるぎ

「大義がない」「自民党の党利党略だ」「いや安倍の己利己略だ」などという批判をよそ目に総理は解散に踏み切りました(十一月二十日)

選挙は民主主義の基盤であり、現政権の政治姿勢について民意を問いたいという総理の言いは正論ですし、解散権が総理の専権事項であるという法律の建前からもこの度の解散総選挙に異論を差し挟む余地はありません。

しかし、国民の多くがそれを望まぬだけでなく、景気対策、拉致、TPPなど国の内外に喫緊の課題が山積しているこの時期に、七百億円もの巨費をつぎ込んで、解散総選挙を強行する理由が納得出来ない国民も多いのではないのでしょうか。

それはともかく、この度の総選挙はアベノミクスだけでなく、原発の再稼働、秘密保護法制定、集団的自衛権容認などの是非を問い、これから先の日本の姿を方向付ける重大な意味を持っています。老い先短い私たちですが、子や孫たちが平和で幸せに暮らせるようにとの願いを込めて、よくよく考え一票を投じなければなりません。十二月十四日には必ず投票場に足を運びましょう。